科目名称	母性看護学Ⅱ (こどもを産み育てるということ)	学年学期	単位数	時間数
		第 2 学年　後期	2	45
担当教員	小池　佐知	授業に関わる 実務経験	■ 有 （ 助産師 ） □ 無	

【1】 授業概要

分娩、新生児の生理、育児を行う上で必要な支援、看護を学ぶ内容とする。正常な経過とともに、異常時の症状やハイリスクの因子を学び、異常の早期発見、予防につながる知識を習得する。

【2】 学習目標

1. 分娩・産褥期の経過を学び、看護師としての援助方法について理解できる。
2. 新生児期の経過と基本的な看護について理解できる。
3. 分娩・産褥・新生児期にある対象に必要な看護技術を習得できる。
4. 紙上事例から産褥期・新生児期における看護過程を展開できる。

【3】 第 1 看護学科ディプロマポリシーとの関連性

■ 1. 人間を理解し、倫理的な態度で看護を実践する力
■ 2. あらゆる対象に応じた看護を実践する力
■ 3. 地域の特性を看護に生かす力
■ 4. 保健・医療・福祉システムにおける連携・協働できる力
■ 5. 主体的に学び続ける力

【4】 授業計画

	内容	主な授業形態
1	分娩期における看護	講義
2		
3		
4	分娩の異常と看護	講義
5	産婦の看護にかかわる技術	演習
6		
7	産褥期の経過と褥婦および家族のアセスメントと看護	講義
8		
9	産褥の異常と看護	講義
10	褥婦の看護にかかわる技術	演習
11	新生児の生理	講義
12	新生児のアセスメントと看護	講義
13	新生児の異常と看護	講義
14	新生児の看護にかかわる技術	演習
15		
16		
17	育児技術の習得および家族関係再構築の支援	講義
18	周産期の看護過程・演習内容の発表	演習
19		
20		
21		
22	まとめ	
23	試験	

【5】 評価方法

筆記試験（80%） 技術演習・レポート・グループワーク、個人ワークの成果物（20%）により総合的に判断する。

【6】 教科書

森　恵美：系統看護学講座　専門分野　母性看護学[2]　母性看護学各論（第 15 版）　医学書院　2026 （電子版）
鈴木　直：系統看護学講座　専門分野Ⅱ　成人看護学[9]　女性生殖器（第 16 版）　医学書院　2026 （電子版）
平澤美恵子　新訂　第 2 版　写真でわかる　母性看護技術アドバンス　株式会社インターメディカ　2026

【7】 参考書

鈴木　利治：患者がみえる「新しい教科書」 かんテキ　産婦人科（第 1 版）株式会社メディカ出版　2023
井上　裕実：病気がみえる 10　産科（第 4 版）　メディックメディア　2018 年
藤森　敬也：胎児心拍数モニタリング講座―大事なサインを見逃さない！（改訂2版）　メディカ出版　2012年

【8】 受講生へのメッセージ

分娩・産褥期、新生児期に必要な看護を行うための知識と技術を習得します。母性看護学実習の内容に直結する技術・知識をたくさん学びます。今後の実習につなげられるよう一緒に学びましょう。